

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)		-	-	-
		百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・今月は前年の衣料品催事を物産展催事へ切替え、ミセス層を中心に動員強化した分、前年比プラスとなった。カテゴリー別では、呉服や宝飾等の高額品の動向は厳しいが、化粧品や雑貨関連の動向は好調である。免税売上も順調な伸びを見せ、店全体を押し上げる形となっている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・前年と比較して、売上が増加している。
		通信会社（店長）	来客数の動き	・月前半は客数も少なく落ち着いていたが、後半に入り客数が増えると同時に販売数も伸びている。他社料金に対抗する格安のプランが要因と考えられる。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・自社競合による影響で、来客数減が続いている。
		旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・ゴールデンウィークはまあまあ良かったが、6～7月は若干停滞気味である。
		通信会社（サービス担当）	単価の動き	・景気が良くなったという実感は無い。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・例年だと今月は利用人数が落ちるのだが、今年は3か月前と変わらず好調に推移している。
		その他のサービス〔レンタカー〕（営業担当）	来客数の動き	・前年とほぼ変わらない予約状況となった。野外での大型イベントが天候不良で中止となり、レンタカーの予約のキャンセルが発生したことにより打撃を受けた。
		住宅販売会社（代表取締役）	お客様の様子	・当社は本島中部をメインに営業、建築工事業務を行っているが、最近になり大型の米国軍人軍属向け賃貸アパートや民泊施設の建築相談が数件寄せられている。
		住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・客は3か月前と比べて変わらず住宅展示場へ来場している。
		スーパー（販売企画）	来客数の動き	・客単価は前年並みだが、客数の減少が売上のマイナス要因となっている。
	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・例年に比べ、月～木曜日の平日の地元客の入客が落ちている。裏通りのせんべろをやっている小さな居酒屋は逆ににぎわいを感じる。自店舗の観光客の最近の動きとしては中国系より韓国人の入客が増えている。	
	観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・客室稼働率において、3か月前は前年実績を上回る実績であったが、今月は徐々に前年同月実績を下回る見込みである。	
	x	商店街（代表者）	単価の動き	・商店街では、毎月売上は落ちている。単価が伸び悩んでおり、特に衣料品等は売れない日もあるという話がある。購入したとしても単価はなかなか伸びず、人は来るが売上にはつながっていないという話もある。
企業 動向 関連 (沖縄)		-	-	-
		食料品製造業（総務）	受注量や販売量の動き	・実際の計数として3か月前より良くなっている。
		*	*	*
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事向け出荷は前年比減、民間向けは前年比横ばいで、全体では前年比減である。
	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・当月としてはそう悪くはないが、3か月前が良かったので、それで比較すると悪い。	
	輸送業（営業）	それ以外	・客からの受注金額の見直しや、従業員1人当たりの生産性向上による人件費圧縮などを行うも、それを上回る人件費単価の上昇、または燃料価格高騰などによる本土からの海上輸送コストの上昇が、収支を圧迫している。また、新規の問い合わせも増えているが、対応する人材が不足しているため、積極的な受注ができない。	
	x	-	-	-
雇用 関連 (沖縄)		-	-	-
		*	*	*
		人材派遣会社（総務担当）	求職者数の動き	・今月も求職者の動きは鈍かった。
	求人情報誌製作会社（編集室）	求人数の動き	・3月度の週平均件数は1,129件、6月は927件だった。202件減少した。	

	学校 [専門学校] (就職担当)	求職者数の動き	・大手企業の採用は、ほぼ終息に向かっているため合同企業説明会への参加者が激減している。単独の会社説明会への参加者は少ない状況である。
x	-	-	-